

インフォームドコンセントの難しさ

入江充洋[†]（四国動物医療センター院長）

約7年前のことである。出張先である北海道のホテルで歯磨き中に歯肉から出血した。帰宅後には発熱と歯肉痛を感じ、歯科医院を受診した。歯科医から歯肉炎と診断されたが、内科を受診も薦められたため、翌日内科医院を受診した。午前中に血液検査と点滴を受け自宅で療養していると、午後には内科医院の医師から連絡があった。緊急で大学病院の予約を入れたので、夕方に大学病院を受診するようとの指示であった。大学病院の診察室で、若い担当医師から問診を受けている時に、医師の机の上にあるコンピューター画面が目に入った。そこには、重篤な汎血球減少症の血液データが列んでいた。

医師に、「僕は獣医師です。はっきりおっしゃってください。骨髓検査ですよ？」と尋ねたところ、医師は、「はい。マルク（骨髓検査）ですね。骨髓異形成症候群か白血病を疑います」と、はっきり答えてくださった。

その後、緊急入院してマルク検査を済ませ、夜には家族と共に白血病告知を受けた。翌日には化学療法がスタートするという驚くほどのスピーディーに治療が開始した。

白血病告知を受容するのに自分では長時間を要し、死にたくないという意思が強かったと記憶している。同時にこの患者にどのような治療を施すのか、骨髓移植が必要である可能性が高いとは、どういうことなのか、骨髓移植って具体的にはどのような流れなのか、などの興味を持っている自分がいたことは確かであった。その影響なのか、看護師に「白血病を告知された後の入江さんの言動は、今までの患者様と全く違っており経験がありません。なぜ、そんなにお強いのですか？」と、質問されたことがあった。

たぶん、興味津々であったために比較的冷静に医師の話を拝聴できたことで、がん告知の受容も多くの患者の方々より早かったのかもしれないと自己分析した。

また、骨髓移植を受けるなら、日本最高峰の国立がん研究センター中央病院で移植を切望するという勘考も短時間で冷静に判断したことからも受容が早いと再認識した。

一方、4年前に母が子宮癌を思い子宮全摘出術についてインフォームドコンセントを受けるとき、家族代表として医師の説明を母と一緒に拝聴した。自分の白血病告知の時と同じく、医師の机のコンピューター画面にて

MRI画像の説明や、イラストを用いた説明を受けながら60分の丁寧な説明であった。私は、詳細でわかりやすい説明を充分理解することができたが、母が発言した医師への質問に驚愕することができた。「…ということは、私は死ぬのですか？」。まったく、医師はそのような話はしていないし、死というワードを医師は一度も発していなかった。母は60分間の医師の話を全く理解していなかった。

がん告知を受けた患者は、告知から1週間以内を初期反応期と呼び、頭の中が真っ白となり、すべてを否定してしまう時期を経験する。その後、1～2週間を苦悩・不安期と呼び、苦悩、不安、抑うつ、不眠、食欲不振状態に陥る。告知から早い方で2週間、長い方では1～3カ月で現実を受け止め、新しいことに順応または努力するようになる。これを受容と呼ぶ。受容していない患者に対するインフォームドコンセントの難しさを母から学んだ。

伴侶動物医療におけるご家族も同様であろうと感じた。医師も獣医師も患者の方やご家族に伝わるように努力または工夫したインフォームドコンセントが必要であると痛感した。紙に書いて説明すること、わかりにくい言葉や医学用語を日常語に言い換え、理解されている言葉を用いること、そして何より医療従事者は、患者の方やご家族が不安定な精神状態であることを理解したインフォームドコンセントを行わなければならないことを学んだ。

臨床において、「言った!」、「言わない!」で揉める

入江 充洋

— 略 歴 —

1990年 酪農学園大学獣医学科卒業
卒後、動物病院にて勤務医、大学の研究生を経る
1993年12月 入江動物病院開業
2011年 四国動物医療センターへ移行
現在、東京大学と香川大学において腫瘍の予後に関連するタンパク質について共同研究中



[†] 連絡責任者：入江充洋（四国動物医療センター）

〒761-0701 木田郡三木町大字池戸3308-5

☎087-864-4060 FAX 087-864-4070

E-mail: vetirie@pastel.ocn.ne.jp

ことは多い。これらの原因の一つは、伝わらない要因が重なったもので、告知直後の患者の方に多いことから、患者の方の精神状態も大きく関与していることが予想される。したがって、告知後の経時的背景を考慮すると、二次診療施設より一次診療施設でより経験することでは

ないかと考えられる。

伴侶動物獣医療では、受容に至る前のご家族と対応することから、一次診療施設におけるインフォームドコンセントは難しいと強く思う。伴侶動物関係者は、インフォームドコンセント術を学ぶ必要があるのではないだろうか。